

<食物栄養学科> (認定課程: 栄養教諭一種免許状)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1学期	○将来、管理栄養士をめざす者として、管理栄養士・栄養士の業務内容や役割等を理解し、将来の自分自身の管理栄養士像を描くことができる。
	第2学期	○食物栄養学科で取得できる資格・免許について具体的に理解することができる。そのうち教員免許である栄養教諭について仕事内容の概要を理解することができる。
2年次	第1学期	○教育の理念をその思想と歴史を通して学び、教職の意義及び教員の担うべき役割と職務内容、また学校教育を支える制度的な諸条件に関する基本的な知識を修得することで、教職をめざすものとしての基礎を身につけている。 ○学校における給食の位置づけや、管理栄養士・栄養士の配置規定、栄養教諭の役割、栄養・食事管理について具体的に理解することができる。
	第2学期	○子どもの発達や特別支援教育について理解を深め、児童・生徒理解に関する基礎的理論と支援方法を身につける。また教育課程の意義及び編成方法について理解することができる。 ○栄養教育を実施する際に必要な知識と技術の基本が身につけている。栄養教育プログラムの組立てを学習指導案に沿って理解することができる。また対象者の年齢に合わせた教育内容の計画やプレゼン・資料の作成ができるようになる。
3年次	第1学期	○特別活動や総合的な学習の時間の教育課程上の位置づけとその内容及び指導法について理解している。生徒指導の意義や目的、方法に関する基本的な事柄を理解することができる。さらに学校栄養指導に関する学修をもとに、食に関する実践的指導力の基本を身につけている。 ○食に関する指導の意義や食に関する法令や諸制度、学校給食の意義・役割・歴史等について理解することができる。栄養教諭の職務内容について理解することができる。児童・生徒のおかれた食に関わる社会的な課題について理解を深めることができる。
	第2学期	○道徳教育や教育相談の学修を通して、児童・生徒をめぐる諸問題と改善のための支援方法について理解することができる。また教育の方法及び技術に関する学びを、学校栄養指導の実践に活かすことができる。 ○食に関する全体計画、給食の時間および各教科における学習目標を理解し、食と関わりのある指導内容を理解することができる。また、食に関する個別指導や地域や家庭と連携した食に関する指導について理解することができる。学習指導案を作成し、食に関連した模擬授業ができる。
4年次	第1学期	○これまでの学びをもとに、「栄養教育実習」において学校教育の実際について観察・参加・実習を行い、そこでの体験をもとに教職への意欲を高め、教育に関する技術等を修得するとともに、理論と実践の往還によって実践的指導力を身につけることができる。 ○小学校あるいは中学校での栄養教育実習の体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得することができ、教職に必要な資質能力の形成をはかることができる。
	第2学期	○4年にわたる「学びの軌跡の集大成」と位置づけられる「教職実践演習」において教員になる上での課題を自覚し、不足している知識や技能を補い、その定着を図ることで、次年度からの教職生活に備える。 ○小学校あるいは中学校での栄養教育実習の経験を基に、栄養教諭が直面する学校給食および食に関する指導の現状と課題について理解を深めることができる。また自らが実施した授業(模擬授業を含む)や指導について自己および他者評価を加えて、授業や指導を改善することができる。